

地元企業の方々と何度も対話を重ね、
イベントを作り上げる過程が面白い。



西脇 豊さん(1989年生まれ)

愛知県立稲沢東高校 出身

愛知学院大学 文学部卒業

一宮商工会議所

一宮市栄4-6-8

<http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

なるためには

●必要資格/特になし
●主な進路/高校卒業→大学または短大を卒業→商工会議所に就職→企画事業部に配属

——学生時代

「小・中・高とサッカー一筋、高校のサッカー部では県ベスト8でした。厳しい練習に耐え、ひとつのことを継続した経験は、社会人になった今でも役に立っています」

大学時代のことを教えてください。

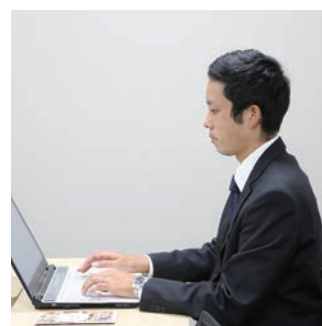
「就職に強いというイメージがあったので、愛知学院大学文学部に進学。勉強、サークル、アルバイト、すべてに全力を注いでいました。当時は『就職氷河期』と呼ばれる厳しい時代。大学のキャリアセンターに通い詰め、資料を閲覧したりアドバイスを受けたりしながら、50社を超える企業を受け付け、希望していた企業から内定をいただきました」

——仕事について

「旅行会社で就職し、営業や企画などの仕事をしていました。あるとき、商工会議所のお客様の旅行を担当する機会があり、地元の中小企業を支えながら地域に寄り添う役割を担う『商工会議所』という存在を知ったのです。全国転勤のある企業で地方を転々とするなかで、いつかは地元・一宮で働きたい、と次第に思うようになっていました。10年勤務したころ、一宮商工会議所の採用試験があることを知り、すぐに応募。無事に内定をいただき、商工会議所で働くこととなりました」

現在の仕事内容を教えてください。

「商工会議所は、地域の中小企業・小規模事業者のための経営相談や、簿記をはじめとする各種検定の運営、地域の発展と経済振興を目的とし



たイベントの企画・運営などを担っています。現在、私は企画事業部に所属し、一宮の地域資源でもある『一宮モーニング』や、『繊維の街からコスチュームタウンへ』をテーマとしたコスチューム事業の事務局を担当。企画からチラシなどの広報物の作成、当日のステージ作りや、パフォーマーへの依頼など、イベント開催のすべてに関わっています」

大切にしていることは何ですか？

「準備とスケジュール管理」を徹底すること。『これを怠らなければ失敗しない！』と上司にアドバイスをいただきました。イベント企画・運営では特に重要なことなので、いつも意識するようにしています」

——やりがい

「1年を通して複数のイベントがあり、地元企業の方々と何度も対話を重ねながらイベントを作り上げていきます。様々な意見をまとめながら方向性を定める過程はとても大変ですが、それが面白くもあるのです。イベントを通して、街全体が盛り上がり、街全体が盛り上がるのにもやりがいを感じています」

——なるためには

「商工会議所の主な業務に、『地元の中小企業からの経営相談』があるため、簿記を学んでおくことをおすすめします。また、地域のために尽力でき、前向きで、コミュニケーション能力に優れている人が向いていると思います。コミュニケーション能力とは、『聞く力』。相手の求めていることは何か、まずは聞くことが大切です。学生のみなさんは、全力で学び、遊び、交友の幅を広げてください。そこで得た様々な価値観や経験が、社会人になったときにあなたを助けてくれますよ」

ありがとうございました。



自分史

22歳



32歳



33歳

大学のサポートを利用しながら就職氷河期を乗り越え、旅行会社に就職。

地元で働きたいと考えようになり、一宮商工会議所に入所。

様々な部署を経験し、会員から愛される人材になることが目標。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



様々な部署や人のあいだに入って調整し、
経営陣の思いをカタチに。



今西 拓植 さん(1985年生まれ)

愛知県立一宮西高校 出身
名古屋工業大学大学院 創成シミュレーション工学専攻修了

株式会社エサキホーム

一宮市東出町 7-1
<https://www.esakihome.co.jp>

なるためには

●必要資格 / 建築士 ※必須ではない
●主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、建築関係の知識や技術を学ぶ→住宅販売をおこなう企業に就職→設計として勤務→経営企画を担当

——学生時代

「ほぼ部活一色の高校時代です。バスケットボール部に所属し、主将も経験しました。みんなを引っ張っていかないとけないという責任感が身についたと思います。進路については、小学生のときから建築系に進みたいと思っていました。高校卒業後、名古屋工業大学建築・デザイン工学科に進学しました」

大学時代について教えてください。

「1年次は教養科目、2年次から建築史、建築基準法、構造力学など専門的な知識を学びました。中でも印象に残っているのは、設計製図の課題。期限厳守で、1秒でも遅れたら即留年なんです。期限前は遅くまで残ってアトリエで模型を作ったり図面を描いたりした記憶があります。大学院に進んだあとも、とても貴重な経験ができました。研究室の先生がフィールドワークが好きなアグレッシブな方だったので、予算書の作成や企業との交渉などを任せてもらったり、なかなか学生では経験できないことも多かったんです」

——仕事について

「分譲住宅を販売するエサキホームに就職しました。設計として配属されたので、1年目はひたすら図面を描く毎日。物件の特徴に合わせて図面の描き方が変わるので、その手法を学びました。あとは、現場で施工検査をするポイントを学びました。OJTで先輩から仕事を教わる感じですね。打ち合わせや図面制作など、一通りの仕事がひとりでできる

——やりがい



ようになつたのは、2年目が終わるころです」

仕事内容を簡単に教えてください。

「当社の仕事は、『街』を作ること。ただ分譲住宅を販売するだけではなく、道路、ライフラインなど、区画全体の計画をコンサルティングしていきます。現在、私の業務は設計から経営企画に移り、会社の舵取りをサポートする役割を担っています。経営陣の意向と、設計など現場のあいだをとりもつ仕事です。様々な部署や人のあいだに入って調整し、経営陣の思いをカタチにしていきます」

「プロジェクトをきっちり終わらせて、目の目を見たときにやりがいを感じます。設計としてのやりがいは、描いた図面がカタチになり、お客様が気に入って購入してくださること。経営企画としては、経営陣と現場の思いがうまく噛み合ったときです。意見が割れたときも、アプローチの違いだけで、掘り下げるとめざしているものは一緒だったりするんです。溝が生まれないよう言葉尻や伝え方を意識しています」

——なるためには

「私は社会に出て1級建築士の資格を取得しましたが、特に必須というわけではありません。でも資格は説得力につながるのです。いろいろな場面で役立ちます。設計の仕事をめざすのであれば、学生時代はいっぱい遊んでください。土地によって建築物が違うので、国内外問わず旅行へ行くこともおすすめです。若手社員を見ていても、たくさん遊んでいる人な経験をしている人のほうが、建築業界でいける力を身につけていると感じます」

ありがとうございました。



自分史

18歳



24歳



37歳

部活一色の高校生活。高校卒業後、名古屋工業大学へ。

建築法や構造力学などの知識から製図の技術まで、建築の基礎を学ぶ。

経営陣と現場のあいだに入り、プロジェクトがスムーズに進むよう、会社の舵取り役を担う。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



最前線で人の命を助ける
救助隊のスペシャリストをめざして。



住田 卓矢 さん(1994年生まれ)

愛知県立津島東高校 出身
中部大学 生命健康科学部卒業

海部東部消防組合消防本部

あま市七宝町遠島十坪 119-1
http://www.amatobu-119.jp

なるためには

- 必要資格/特になし
- 主な進路/高校卒業→大学または専門学校を卒業→地方公務員試験(消防士採用試験)に合格→消防学校にて訓練→消防士として勤務

——学生時代

「中学では生徒会長、高校では体育祭のブロック長を経験。体を動かしながら先陣を切ってみんなをまとめることが好きだったので、そんな仕事ができたら...と考えていました。また、東日本大震災の報道で、現場にいるオレンジ服の救助隊の姿を見て、消防士になりたいと強く思いました」

大学時代のことを教えてください。

「救急救命士の資格が取れると知り、中部大学生命健康科学部スポーツ保健医療学科に入学。公務員試験対策の講座などもあり、消防士や警察官などの卒業生を多数輩出していたことも受験の決め手になりました。大学3年生のとき、応急手当指導員の資格取得のために学んだ知識は、消防士として働く現在でも役に立っています。僕は大学を卒業してから警備会社に2年間勤務しましたが、現場の最前線に立つ消防士への想いをどうしても捨てきれず、消防士採用試験に再挑戦しました」

——仕事について

「24才で海部東部消防組合消防本部の採用試験に合格した後、愛知県消防学校で6ヶ月間の訓練がスタート。毎日の訓練はとても厳しく、加えて火災戦法などの座学もあり、体力・気力ともに本当に鍛えられました。その後、1年目は、警防隊として火災現場の最前線で消火活動を担当。2・3年目は救助隊。現在はまた警防隊を担当しています」



仕事内容を簡単に教えてください。

「消防士の仕事は24時間勤務です。休憩や仮眠はありませんが、呼び出されればすぐに出勤しなければなりません。出勤指令がない時間はひたすら訓練です。警防隊なら20kgもある防火服を着てホースを担いだまま走る訓練、救助隊なら救助工作車に積載されている200種以上の資機材の取り扱い訓練など。その他の時間は各地にある消火栓の点検、自主練、救急救命士の資格取得の勉強などをして過ごします」

大切にしていることは何ですか？

「疲れているときにも出勤があつたり、気力・体力ともに維持が大変なので、日々の訓練で自分に自信をつけること『人の役に立つんだ』という気持ちをしっかりと持ち続けることを大切にしています」

——やりがい

「事故現場から動けなくなっていた人を助け出したとき、家族の方から面と向かって『ありがとうね』と言われました。直接感謝を伝えられると、やっぱり前向きになれるですし、『頑張ろう！』とやる気です」

——なるためには

「消防士になるためには、地方公務員試験の消防士採用試験に合格する必要があります。僕は24才で消防士になりましたが、自治体によって年齢制限があるので、一度確認してみてください。また、救急救命士をめざすなら、資格取得が可能な大学や専門学校に進学するのも良いと思います。高校生の皆さんは、文化祭・体育祭などのイベントや授業に全力で悔いのないように取り組んでください。一生懸命がんばったことは、将来必ず役に立つはずです。応援しています」

ありがとうございました。



自分
の
経
歴

24歳 消防士採用試験に合格。消防学校で6ヶ月の訓練を受ける。

25歳 救助隊として、最前線で人の命を助ける仕事を体験。

28歳 救助のスペシャリストを目標に、救急救命士の資格取得をめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

http://amb100search.com



みなさんの生活を守るため、
日々の電気工事に取り組み。



酒井 聖太さん(1992年生まれ)
愛知県立小牧高校 出身

株式会社トーエネック

名古屋市中区栄1-20-31
<https://www.toenec.co.jp>

なるためには

- 必要資格/第二種電気工事士 ※入社後に取得
- 主な進路/高校卒業→トーエネックに就職→社内で研修を受け、第二種電気工事士資格を取得→技能職として勤務

——学生時代

「テニス部に入り、ひたすら部活に打ち込んだ高校生活です。チーム内でコミュニケーションをとって楽しく取り組むことができました。進路を決めたのは、高校3年生のときです。デスクワークよりも体を動かす仕事のほうが自分には向いていると思い、電気設備工事などをおこなうトーエネックへ就職しました」

——仕事について

「就職が決まってから、第二種電気工事士資格の勉強を始めました。入社後の研修期間で講習を受け、資格を取得することができました。研修では資格取得とともに、電柱に登って作業をするうえで必要な知識を学びます。安全に作業をするための重要な知識や、電気の仕事、設備の取り付け方などを学びました。大切なことは、何よりも安全です。慣れてくると楽をしなくなるのですが、手間を惜しまず、ついに決められたことに取り組むことが、安全にとって最も大切です。それは日々いかなるときでも心がけています」

最初で最初のこととは？

「現場で最初に任されたのは、電柱に腕金という金物を取り付ける作業。次は、電気が流れたままの電線同士を接続する活線作業。徐々に経験と積み、資格を取得することで難易度の高い作業を任せてもらえるようになります。活線作業をおこなうには、取り扱う電圧によって低圧電気取扱業務特別教育、高圧・特別

——なるためには

「入社時に(必須ではありませんが)、第二種電気工事士資格をもっていると思えます。研修がしっかりとれているので、私のように入社後に取得する人も多いです。作業車を運転するので、MT車両での免許取得も必要だと思っています。高校時代私は部活一筋でしたが、みなさんは勉強もしっかりしておいてください。仕事では頭を使いますよ。あとは、何事も継続すること。頑張つて続けることで自身を成長させられると思います！」

ありがとうございました。



高圧電気取扱業務特別教育を修了する必要があります」

仕事内容を簡単に教えてください。

「みなさんが普段使っている電気に携わり、安心で快適な暮らしを守ることが私たちの仕事です。たとえば新築の家が立つ場合、新しく電線を張り電気を通します。電線を張る箇所や必要な電圧などを確認して機材を揃え、作業車で現場へ行き、電線を張っていきます。災害などで停電してしまつたときに、電気の復旧をするのも重要な仕事のひとつです」

心がけていることは？

「電気は普段当たり前のように使っていて、みなさんの生活にとって欠かせないものになっています。お客さまのもとに届く電気を止めるわけにはいかない」という使命感をもって仕事に取り組んでいます」

——やりがい

「停電から復旧できたとき、多くの方から『ありがとう』と声をかけていただけます。また屋外での作業中、近隣の方から『おつかれさま』、子どもから『頑張つてねー！』と声をかけていただく機会も多く、みなさんからの声がいかにつながっています」



自分
の
安
心

18歳
↓
19歳
↓
30歳

部活に打ち込んだ高校時代。トーエネックで働いていた父の影響もあり、自身も同じ電気工事の道へ。

電気の知識や安全に対する意識を学ぶ。第二種電気工事士資格を取得。

生活に欠かせない電気に携わり、みなさんの安心で快適な暮らしを守る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



美容師、クリエイターとして 何事にも挑戦できる環境に感謝。



本間 りょうさん (1999年生まれ)

愛知県立小牧高校 出身
中部美容専門学校 卒業

in chelsea

北名古屋弥勒寺西1-96
<https://www.inchelsea.co>

なるためには

- 必要資格 / 美容師免許
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→国家資格に合格し、美容師免許を取得→美容院に就職

——学生時代

「美容師をめざしはじめたのは、小学校高学年のころ。当時は癖毛でやりたい髪型ができなくて…。縮毛矯正をかけて、腰まであった髪の毛を顎ラインまでバツサリと切ってみたら新しい自分になって、その変化を鏡で見るのが楽しかったです。そのときに『美容師さんは魔法使いみたいな人だなあ』と思ったのと、人自信をもたせてくれるすてきな職業だと思ったのがきっかけです。同時に服や美容にも興味をもつようになりました」

「専門時代について教えてください。」

「中部美容専門学校に進学しようと思った理由は、美容師としてのスキルだけでなく、着付けやネイル、エステなどトータルビューティーを2年間みっちり学べるから。メインは国家試験のための授業(実技と座学)で、苦労したのはワインディング(実技)です。ロッドの配置やバランス感など、いくつか注意点がありませんが、制限時間内にパーマを巻いていきます。これには手の器用さが必要で、反復練習をして技術を磨きました。行事だと、オープンキャンパスのときのヘアショーが思い出深いです。リーダーとしてみんなの意見をまとめることの難しさを感じて葛藤しましたが、先輩から褒めてもらえてうれしかったです」

——仕事について

「国家試験に合格して美容師免許を取得し、『in chelsea(インチェルシー)』に就職しました。勤めて3年



目です。お店に入ったときの空気感と、入社してまもないころからヘア作品の撮影にも挑戦させてもらえることが決め手でした。1年目は仕事を覚えるのに必死でしたが、2年目になるとコンテストにも注力できるようになりました」

「仕事内容を簡単に教えてください。」

「原体験で感じたことと変わらず、『美容師＝魔法使いみたいな人』だと思います。今はシャンプーやカラー塗布などのアシスタント業務を担当しています。ほかには、美容師を対象としたセミナーのサポートに入ることもあります。これは『半美容師、半クリエイター』というスタンスのスタッフが揃っていて、クリエイターとして様々なことに挑戦できるのが魅力です」

——やりがい

「お客様の要望に合わせてスタイルを提案し、仕上がったときによるこんでもらえると、魔法をかけることができたように感じます。サロンワークでも外部の仕事でもコンテストでも何でもそうですが、頑張ったら頑張ったぶん結果や価値がついてくるので、やりがいのある仕事です」

——なるためには

「自分の中で大事にしたいものをもって進路を決めたほうが、つらいときにそれを思い出すことで頑張ることができたり、立ち直ることができると思います。私の場合は、『人に魔法をかける』『可愛くする』ことなら妥協せず貫き通せると思うので、アパレルなどほかにも選択肢があったなかで美容師になること決めました。挫折したぶん輝ける仕事です。美容師をめざす人は、ちょっとやそつとで挫けずに、『今が輝きどきなんだ!』と思って頑張ってください!」

ありがとうございました。



自分
の
夢

18歳



20歳



23歳

高校卒業後、トータルビューティーが学べる中部美容専門学校に進学。

美容師免許を取得。インチェルシーに就職。

アシスタント業務に努め、スタイリストをめざす。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



セキュリティと利便性のバランスが大切。
デジタルで業務をもっと効率的に。



山下 雄麻 さん (1996年生まれ)

愛知県立小牧高校 出身
愛知県立大学 情報科学部卒業

北名古屋市役所

北名古屋市西之保清水田15
<https://www.city.kitanagoya.lg.jp>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業 → 大学に進学 → 市の職員採用試験に合格
→ 総務部 企画情報課に配属

—— 学生時代

「小学生のころから工作が好きで、中学生になったころにパソコンが身近になったことでパソコンで何かを作る仕事に興味を持ちました。高校でもやはりパソコンを使った情報の授業や数学が好きだったので、情報系の勉強をしようという決め理系に進みました」

大学時代について教えてください。

「愛知県立大学情報科学部ではアルゴリズムを使っていた『待ち時間を減らす研究』を行いました。研究室では学生4名に対して1名の教授がつくという少人数制だったので、行き詰まったときは相談しやすく、手厚い教育環境で専門性を深められました。小学生から続けている卓球では部長も経験し、技術の高低や自分の好き嫌いによってチャンスを奪うのではなく、全員に等しく機会を与えるようにしていました。3年生になり就職を考えたときに、全市民に平等なサービスを届けるという公務員の公平性が自分の性格と合っていると感じ、市役所の一般事務職を目指しました。公務員試験には筆記試験があり、大学が開講してくれた対策講座を受講して合格することができました」

—— 仕事について

「総務部に配属され、サーバーやシステムの保守・更新の仕事を任せられました。職員が使っているパソコンやプリンターすべての事務機器が対象なので、部署を横断して対応に当たっています。昨年度からは新

設のDX推進室に配属され、デジタルでの業務改善提案などを行っています」

大切にしていることは何ですか？

「サーバーやパソコンを扱う以上セキュリティ対策は必須です。しかし、セキュリティを万全にするために、煩雑な仕組みにしようとして、職員の負担が増えてしまったり、市民の皆様が扱いにくかったりします。DXは『デジタルを使って業務の改革を行う』ことが目的。セキュリティと利便性のバランスを考慮し、市民にとっても、職員にとっても有効な仕組み作りを心掛けています」

—— やりがい

「配属されて1、2年は与えられた業務をこなすことがほとんどでしたが、4年目に『DX推進室』に配属され、先輩に『業務で改善したいことがあるなら、どんどん提案していけ』とアドバイスしてもらってからは『議事録の音声でAIが文字起こしをするツール』の導入など、様々な提案ができるようになりました。とてもやりがいをもって業務に励んでいます」

—— なるためには

「公務員試験合格は必須ですが、他に特別な資格やスキルは必要ありません。重要なのはデジタルに対して興味を持つこと。学校でもタブレットを使った学習が進んでいると思うので、積極的にデジタルに馴染んでもらいたいんです。DXはこれまでの作業を単にデジタル化するのではなく『デジタルでどう改善するのか』を考えることが求められます。DXは今後ますます社会に必要とされる分野です。デジタルスキルをあげていくことで、市役所においても活躍の場が広がっていると思います」

ありがとうございました。



自分史

16歳
↓
21歳
↓
25歳

高校2年の文理選択の際、情報系の分野を深めたいと思い、理系に進む。

大学3年の就職活動を通して公務員の公平性に魅力を感じ、市役所職員を目指す。

DX推進室に配属され、デジタルで業務効率を上げる提案に励む日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





将来ほっこり懐かしく思い出せるような、
想いの込めったイベントを提供。

藤田 祐史さん (1981年生まれ)

岐阜県立郡上高校 出身

名古屋文理大学 情報メディア学部卒業

株式会社サン・ストラッセ

関市倉知516

<https://www.ma-go.co.jp>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業・大学に進学→ショッピングセンターの運営をおこなう企業に就職→販売促進担当

学生時代

「友人との楽しい記憶ばかりです。生徒会に入っていたので、特に生徒会室での思い出が多いかもしれません。喋ったりボードゲームをしたりするだけでも、当時は心から楽しんでいたですね。また、文化祭や体育祭の準備を通して、イベントの企画・運営の面白さを知ったのも高校時代です。当時の経験が、今の仕事につながっていると思います」

大学時代について教えてください。

「高校時代からプログラミングが得意だったので、より深く学ぶために名古屋文理大学情報メディア学部へ進みました。大学時代はプログラミングを教えるアルバイトもしたりと常にプログラミングについて考えていました。状況が変化するのは就職活動の時期からです。大学の先生からプログラミングを専門とする会社を推薦していただきインターンシップまで参加したものの、いざ仕事の現場を見ると、自分に向いているのかと疑問を感じたのです。『目の前で人をよろこばせられることを仕事にしたい』、そんな考えが湧いてきたときにサン・ストラッセの求人を見つけ、地域密着型、イベントの企画・運営、という内容に魅力を感じて応募しました」

仕事について

「弊社は、ショッピングセンターMAGO(マーゴ)全体の運営をしています。テナントの誘致から、出店している店舗の運営、販売促進など、すべてに責任をもっています」



仕事内容を簡単に教えてください。

「現在では、販売促進の担当としてWebサイトやSNSの管理、チラシ制作のディレクション、イベントの企画・運営などを行っています。MAGOでは、毎週土日にイベントを開催しており、イベントはほぼ私たちの手づくりです。地域密着型のショッピングセンターだからこそ、将来ほっこり懐かしく思い出せるような、想いの込めったイベントをお客様にご提供していきたいと考えています。たとえば、『祝・1歳！一升餅背負いレース』は、もう18年ほど続いているイベントです。当時お餅を背負った赤ちゃんが今では高校生。地域密着だからこそ、今でもショッピングセンターを利用して話をしていただき、ご家族含めて思い出話したりもするんですよ」

心がけていることは？

「いつでも笑顔でいること、楽しい空気をつくることです。『土日にMAGOに行けば、何か楽しいイベントに参加できる』そう思っていただけのことをめざしています」

やりがい

「企画したイベントでお客様がよろこんでくださる瞬間に最高のやりがいを感じます。それから、参加してくださったお客様が成長してから現状報告をしに来てくれることもあり、それもちょうどやりがいなんです」

なるためには

「特別な資格は必要ありません。高校生のみなさんは、まずは楽しんでください。楽しいと思えば、自然と自分らしい道が開けると信じていますよ」
お忙しいところ、ありがとうございます。



自分史

16歳

高校で生徒会に所属する中で、イベント企画・運営の面白さを体感する。

22歳

仕事内容のひとつにイベント企画の文字を見つけ、株式会社サン・ストラッセへ入社。

41歳

イベントで関わった子どもたちが成長して就職の報告に来てくれるなど、蓄積をうれしく実感する日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



お客様の会社の一員になった気持ちで、
目標を実現するお手伝いを。

渡邊 環 さん (1994 年生まれ)

愛知県立一宮西高校 出身
三重大学 文学部卒業

株式会社アドプランナー

名古屋瑞穂区妙音通4-29
https://www.ap-net.co.jp

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業 → 大学に進学 → 飲食店でアルバイトを経験 → 人材採用などをサポートする企業に就職 → 企画営業として勤務

—— 学生時代

「吹奏楽部でフルートを担当し、部活に励んだ高校生活でした。部活を通して、あきらめない気持ちを育むことができたと思います。1年生のときには叶わなかった県大会出場という目標も、あきらめずに努力した結果、2年生のときに果たすことができました。高校卒業後、三重大学文学部に進学しました」

大学時代について教えてください。

「主に学んだのは、地誌学やアメリカの格差社会について。本が好きだったので司書の資格も取得しました。あとは、とにかくアルバイトをしていたという印象です。アルバイト先は、常連さんの多い飲食店。お客様に合わせた接客を心がけていたのですが、今の仕事に通じるところもあります。資料を渡したときに、読み終わるまで待ったほうがいいのか、自分から話しはじめたほうがいいのか、お客様に合わせた商談ができるようになりました」

—— 仕事について

「大学卒業後、アドプランナーに就職しました。1年目は、動きづけることの大事さなど営業の精神を叩き込まれました。やっていることは人材採用のサポートなのですが、私もお客様の会社の一員になった気持ちで働いています。どうして人を採用したいのかを聞いていくと、利益を上げるため『会社を続けるため』『社長の夢を叶えるため』『会社を大きくするため』など、その理由が明確になってきます。その目標

を達成するまでのお手伝いができることもこの仕事の魅力です」

心がけていることは？

「お客様が望んでいるものと現実的に採用できるプランが一致するとは限らないので、お客様の言いなりにならないように心がけています。絶対に採用できないプランだと思ったら、『それでは採用できません』としっかり伝えることも大切なんです。重要なのは、『半年後、2年後、10年後、会社をどうしていきたいのか？』を聞き、『そのために、今は何をすべきか？』を考えて、目標と現実のギャップを明確にすること。さらに、どんな人が活躍しているのか、どんな人を採用したいのか、仕事のやりがいなどを念頭にヒアリングし、お客様と一緒に原稿の打ち出しや待遇など最適なプランを考えていきます」

—— やりがい

「2つあるのですが、ひとつは、お客様にとっていい採用ができたとき。そして、採用した人が会社で活躍していると聞いたときにやりがいを感じます。もうひとつは、営業として、月の数字目標を達成できたときにもやりがいを感じます」



—— なるためには

「私たちは介護・飲食・製造・物流・派遣など、本当に幅広い業界のお客様を担当します。『これは何だろう？』『何にでも興味をもつ姿勢が大切』です。高校時代は、勉強だけが部活だけにならず、いろんな経験をしてほしいです。成功も失敗も、友達と遊ぶことも、とにかく多くの経験をしてください。そのなかで関わる人が増え、頼りになる人が現れると思います。あとは、自分で自分の機嫌をとれるようになってきます。このふたつは、社会に出てからも役立つ重要な要素だと思います」

ありがとうございました。



18歳

↓

22歳

↓

28歳

吹奏楽部に所属し、あきらめない気持ちを育む。

飲食店でのアルバイト経験を通じ、相手に合わせた接客を学ぶ。大学卒業後、アドプランナーに就職。

目標と現実のギャップを明確にし、お客様と一緒に最適な採用プランを考える。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



仏壇は家族の最も大切なものとして、
何代にも渡って受け継がれてゆくもの。



上田 晋市 さん(1977年生まれ)
岐阜県立郡上高校 出身

上田仏壇店

郡上市八幡町島谷1111
https://butsudan-store-457.business.site

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業 → 仏壇メーカーで修行を積む → 実家の仏壇店を継ぐ

——学生時代

「高校時代は、勉強よりも部活よりも文化祭の実行委員会などに一生懸命でした。みんなを巻き込んで一つの目標に向かって取り組むことの面白さを知りました。今につながるとても良い経験でした」

現在の仕事に就いた経緯を教えてください。

「高校3年のとき、福祉施設でのボランティア経験から、福祉の仕事に興味をもち、家業の仏壇屋を継ぐべきか、進学して福祉の道に進むかを悩んでいました。冷静に、将来自分がどうしたいかを見据えたとき、シンプルに『誰かの役に立つ仕事したいんだ』ということに気がつきました。家業を継ぎ、地元で仕事をするので、地域と関わりながら様々な可能性が広がるだろうと思いい、半信半疑ではありましたが、まずは職人になるための修行に出ることを決めました」

——仕事について

「それから約3年間は、付き合いのあった仏壇メーカーでみっちり基礎を教わりました。専門学校のような感覚でした。その後の2年間は、師匠のもとで、仏壇に関わる様々なノウハウ、商売の基本、人との付き合い方まで今の自分の礎となる経験をさせてもらいました。本当に厳しかったですね。それから地元郡上にもどり、家業を継ぐことになりました」

仕事内容を簡単に教えてください。



もう一つは、仏壇のクリーニングが主な仕事です。お客様の要望を伺って、どのように修繕するかを決定します。それからお預かりした仏壇を分解・洗浄・塗り直し・金箔張り、組み立てという順序で、ていねいに作業をしていきます。仏壇は家族の最も大切なものとして、何代にも渡って受け継がれてゆくものです。だからこそ、心を込めてじっくり仕事をさせていただきます」

——やりがい

「家財のなかでも最も大切なものをお預かりするので、納品の際は毎回緊張して前日はなかなか寝つけないこともあります。だからこそ、よくこんでいただけたときは、本当にうれいすね。それが一番のやりがいです」

地元に戻って働くことに対する特別な思いはありますか？

「地元で仕事をさせていたたいので、地域のためのイベントを企画したり、商工会の役職を担ったりと、本業以外の仕事もたくさんあります。自分の町だからこそ、自分たちで町を育て、また町

に育てられています。地域のために汗を流すことも、とてもやりがいのあることだと思っており、それも大切な仕事ですね」

——なるためには

「特に必要な資格などはありません。仏壇店や仏壇修復士は特殊な仕事なので、興味があれば、是非直接仏壇店や仏壇メーカーなどを訪ねてみてください。それから弟子入りするなどして、現場経験を積みます。本当に細かい作業の積み重ねなので、根気のある人に向いていると思います」

お忙しいところ、ありがとうございます。



自分史

- 18歳 高校卒業後、地元郡上を離れ仏壇メーカーへ修行に出る。
- 24歳 郡上へもどり、家業の仏壇店を継ぐ。ゼロからのスタート。
- 45歳 職人として、いち経営者として、生まれ育った地域のために日々奔走中!!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



必要なのは、挫折や苦難があっても
それ乗り越えようとする姿勢。

国井 里奈さん (1997年生まれ)

愛知県立高蔵寺高校 出身

愛知大学 法学部卒業

愛知県警察本部

名古屋市中区三の丸 2-1-1
https://www.pref.aichi.jp/police/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業 → 大学へ進学 → 警察官採用試験に合格
→ 警察学校に入校 → 地域課に配属

—— 学生時代

「高校時代はハンドボール部に所属し、部活三昧の3年間でした。仲間の大切さを実感しましたし、最後まで諦めない精神力を養うことができたと思います。警察官を目指したのは小学生のときから。きっかけは警察官である親戚から仕事の話を聞いて、人を助ける仕事に就きたいと思うようになりました」

大学時代について教えてください。

「高校卒業後、愛知大学法学部に進学しました。刑法・民法・刑事訴訟法など法律の基礎を学びました。ゼミの研究テーマは、地方自治について。若者を集めるアイデアなど、地方都市の地域政策について学びました。警察官採用試験は大学の公務員試験対策講座を受講して臨みました」

—— 仕事について

「大卒者は半年間、警察学校で教養を受けます。座学では法律の知識を学び、術科の授業では剣道や逮捕術などを学びました。中でも大楯を持って走るなどした警備実施の訓練では、体力も精神力も鍛えられたと思います。困っている仲間がいたらみんなで助け合って乗り越えるという意識が芽生え、チームワークも育むことができました」

仕事内容を簡単に教えてください。

「地域課に配属され、交番勤務をしています。地域の安全を守ることが私たちの仕事。落とし物の受理、交通違反の取締りなど業務は多岐にわたります。困りごとはないか」



「不審者はいないか」を聞きながら各家庭を訪問する巡回連絡も大切な活動の一つです。110番通報があったとき、事故・事件現場に最初に駆けつけるのが私たち地域課の警察官。事故の場合、けがはないか、どんな事故だったのかを確認し、事件の場合は関係者への事情聴取を行います。犯人が現場にいない場合は、周辺の目撃者から犯人の特徴や状況を聞いたり、防犯カメラ映像を確認するなどの捜査を行います」

心にかけていることは？

「誰もが気軽に交番を訪ねることができるように、親しみやすい雰囲気や言葉づかいで話を聞くように努めています。犯人に対しては毅然とした態度で対処する一方相談に来た方に対しては思いやりの心をもって対応することを心がけています」

—— やりがい

「地域の方に、『あなたに相談してよかった』と言ってもらえたときにやりがいを感じます。交番に来所してきたときは元気がなかった方が、帰るときは『ありがと』と安心した表情で元気になって帰っていく様子を見るのもうれしいです」

—— なるためには

「警察官は、誰かのために頑張りたいと思える人に向いている仕事だと思っています。体力に自信がなくても訓練に取り組むことで自然と鍛えられます。あとは、挫折や苦難があってもそれ乗り越えようとする姿勢、諦めない心が大切。私は部活を通してその気持ちを養うことができました。高校生のみなさんには、今の自分が楽しく過ごせているのは、家族や友達、先生のおかげだということを忘れないでほしいです。社会に出てからも感謝の気持ちが大切です」

ありがとうございました。



自分
史観

18歳



22歳



25歳

部活三昧の高校3年間。高校卒業後、愛知大学法学部に進学。

公務員試験対策講座を受講。警察官採用試験に合格し、警察学校へ。

交番では親しみやすい雰囲気づくりを意識し、地域の安全を守る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

